

# 公益財団法人軽井沢美術文化学院

## 2022 年度事業計画書

### I. 美術館の運営

「続・西村伊作の理想の学校 文化学院 戦後の再興と芸術教育の継承」

2022 年 6 月 11 日(土)～11 月 13 日(日)

10:00～17:00 水曜休館・但し 8/1～9/15 無休

#### 1. 企画展

1921（大正 10）年に創立された文化学院は、生徒一人ひとりの個性と思想を大切に育てる新しい芸術教育を行う学校として一世を風靡しました。しかし太平洋戦争が始まると、校長西村伊作の自由な発言や振る舞いと文化学院の自由主義の教育は日本的ではないと、1943（昭和 18）年に校主の西村伊作は不敬罪の容疑で逮捕され、文化学院は閉校を命ぜられました。強制閉校後の校舎は陸軍が使用し、捕虜収容所となりました。

終戦とともに西村伊作の刑は無くなり、校舎も戻ってきました。そして一年も待たず、西村伊作は子供たちと卒業生たちの協力を得て、1946 年 4 月 25 日に文化学院の再開式をとり行います。

まず人文・自然科学を講義する文科が立ち上げられ、週一で開催する音楽と講演の会「文化教会」がはじまりました。翌 1947 年、四女ソノ中心に美術科が始動し、長女アヤが英語ハイスクールをはじめます。次女ユリは社会人向けのデザイン科を、長男久二は建築科と陶磁科を立ち上げ、社会の復興と共に文化学院の教育分野は拡大していきます。卒業生で画家の村井正誠や山本蘭村、随筆家の戸川エマらも母校の教壇に立ち支えています。

戦中の縛りから解放された社会で再開校した文化学院のあゆみと、それを支えた新しい世代の講師ら、猪熊弦一郎、佐藤忠良、脇田和、斎藤寿一らの作品を本企画展ではご紹介いたします。

第一室：（常設展）西村伊作の生い立ち 伊作の思想をそだてたライフスタイルの紹介

第二室：戦後の文化学院の教育 新しい科とカリキュラムと教員たちについて

環境 カリキュラム 行事 成果 （写真パネルや教材と作品を展示）

第三室：戦後の文化学院を支えた講師たち （写真パネルと作品を展示）

脇田和 山本蘭村 村井正誠 佐藤忠良 斎藤寿一 荻太郎 猪熊弦一郎 今泉篤男 西村八知 他

## 2. 美術館でのイベント

- ◇ ローズフェスティバル 6月18日(土)～7月3日(日) (水曜日休館日)  
バラが見ごろ 美術館入場者はカフェ 100円割引
- ◇ ギャラリートーク 未定
- ◇ 秋のアートフェスティバル 10月9日(日)  
美術館入館無料 小学生にはスケッチブックとクレヨンプレゼント スケッチ大会開催

## 3. ルヴァン美術館夏のコンサート

8つのコンサート開催予定(ルヴァン主催5つ、貸し3つ、)

2021年のコンサートは感染症拡大防止対策のため、開演時間を早めにし、入場人数は8割と制限、座席間は幅を広くとり、入場の際検温と消毒と連絡先の記入を徹底した。インターミッションのドリンクサービスはペットボトルのミネラルウォーターを各自で取れるようにカフェカウンターに並べた。今年も同様に行う予定。

- ① 7月16日(土) 山口佳子ソプラノコンサート
- ② 7月23日(土) オペラコンサート
- ③ 7月31日(日) 林徹也 ギョルギー・ボグナー デュオコンサート
- ④ 8月7日(日) 近藤和花ピアノコンサート(第14回)
- ⑤ 8月13日(土) ボサノバ・サパトス/木村 純・三四郎(第18回)
- ⑥ 8月20日(土) 戸室玄ピアノリサイタル(第2回)
- ⑦ 8月23日(火) J.C. Acoustics ジャズ・ポップス・ラテンの新感覚サウンド
- ⑧ 8月27日(土) 寺田悦子・渡邊規久雄/四手連弾ピアノコンサート(第4回)

## II. アトリエ・ルヴァン (Atelier Le Vent) の運営

2022年はこれまで実績のあるワークショップを予定している。子供向けのワークショップ(夏休みの自由研究対策)として木工教室、陶芸教室、染色教室8月実施を計画中である

### 1. アトリエ・ルヴァンでは以下のイベントを主催する。

- ◇ 陶芸教室 7月 7月30日(土) 31日(日)
- ◇ 木工教室(講師:永島秀之) 8月中旬
- ◇ 陶芸教室 8月 8月20日(土) 21日(日)
- ◇ 子供の染め教室 8月初旬と下旬平日
- ◇ 陶芸教室 9月 9月18日(日) 19日(月・祝)
- ◇ ウィンターオーナメント作り 10月8日(土)

### 2. アトリエの貸し出し

以下の2件については無料で貸出する予定

- 4月30日(土) 軽井沢の景観を守る会主催 講演会
- 8月4日(木) 軽井沢の景観を守る会主催 講演

### III. 宿泊施設の運営

美術館付属の宿泊設備はイベント講師や美術館のコンサート演者、および美術館訪問の一般の方の宿泊設備として本年度も引き続き運営する。文化学院卒業生および関係者には若干の割引が適用する。

### IV. ショップ・カフェの運営

#### 1. ショップ

従来の商品を中心に販売。商品陳列を工夫し、販売が伸びるようする。

#### 2. カフェ

カフェプレオープン 4月29日（金・祝）～5月8日（日）（無休） ショップとカフェを大型連休中オープンする

美術館庭園の雰囲気、癒しの空間として来館者にアピールし、また、値段、味ともに評価された結果、毎年着実に地元を中心とするリピーターが増加してきた。2021年度の売り上げは530万円を超え過去最高となった。2022年度もほぼ同額の売り上げを見込んでいる。

### V. その他

#### 1. ひきつづき感染症対策を行う

美術館では検温、アルコール消毒、来館者（代表者）の氏名と連絡先の記載をもとめる。カフェのテーブル数を減らして間隔を開け、美術館・カフェのスタッフはマスク着用での接客を行う。コンサート、ワークショップは参加人数を制限、密にならないことと換気に留意する。

#### 2. 他の団体への寄付

新宮市の西村記念館と旧チャップマン邸については引き続き維持、保全のための寄付を継続する。

#### 3. アーカイブ作業

2018年3月に閉校した文化学院から多くの歴史資料や書籍を譲り受けたこともあり、財団の保有する収蔵品、史資料のデジタルアーカイブ化の作業に引き続き取り組む。

#### 4. 休館中の美術館施設貸し出し

2022年5月21日にウェディングへの貸し出しを予定している。

以上